

平成29年 第 2 回 定例会
6 月

つがる市議会会議録

予算特別委員会

平成29年 6月 9日開会

平成29年 6月12日閉会

つ が る 市 議 会

平成29年第2回つがる市議会定例会 予算特別委員会会議録目次

第 1 号 (6月9日)

議事日程	1
本日の会議に付した事件	1
出席委員	2
欠席委員	2
地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名	3
職務のため議場に参加した者の職氏名	3
開会、開議宣告	4
委員長の互選	4
副委員長の互選	4
散会の宣告	5

第 2 号 (6月12日)

議事日程	7
本日の会議に付した事件	7
出席委員	8
欠席委員	8
地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名	9
職務のため議場に参加した者の職氏名	9
開議宣告	10
議案第40号の説明、質疑	10
・議案第40号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件 (平成28年度つがる市一般会計補正予算(第7号))	
議案第41号の説明、質疑	20
・議案第41号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件 (平成28年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算(第5号))	
議案第42号の説明、質疑	21
・議案第42号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件 (平成28年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号))	
議案第43号の説明、質疑	22

・議案第43号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件 (平成28年度つがる市介護保険特別会計補正予算(第5号))	
議案第44号の説明、質疑	24
・議案第44号 平成29年度つがる市一般会計補正予算(第1号)案	
議案第45号の説明、質疑	30
・議案第45号 平成29年度つがる市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)案	
議案第46号の説明、質疑	31
・議案第46号 平成29年度つがる市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)案	
議案第47号の説明、質疑	32
・議案第47号 平成29年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案	
議案第48号の説明、質疑	33
・議案第48号 平成29年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案	
議案第49号の説明、質疑	34
・議案第49号 平成29年度つがる市介護保険特別会計補正予算(第1号)案	
議案第40号～議案第49号の討論、採決	35
・議案第40号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件 (平成28年度つがる市一般会計補正予算(第7号))	
・議案第41号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件 (平成28年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算(第5号))	
・議案第42号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件 (平成28年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号))	
・議案第43号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件 (平成28年度つがる市介護保険特別会計補正予算(第5号))	
・議案第44号 平成29年度つがる市一般会計補正予算(第1号)案	
・議案第45号 平成29年度つがる市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)案	
・議案第46号 平成29年度つがる市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)案	
・議案第47号 平成29年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案	
・議案第48号 平成29年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案	
・議案第49号 平成29年度つがる市介護保険特別会計補正予算(第1号)案	
閉会の宣告	35
署名	37

第 1 号

平成 2 9 年 6 月 9 日 (金曜日)

平成29年第2回つがる市議会定例会予算特別委員会会議録

議事日程（第1号）

平成29年 6月 9日（金曜日）午前10時17分開会、開議

1 開会、開議宣告

1 議事日程

正副委員長互選

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（19名）

1番	齊藤 渡	2番	田中 透	4番	長谷川 榮子
5番	成田 博	6番	木村 良博	7番	佐藤 孝志
8番	長谷川 徹	9番	三上 洋	10番	野呂 司
11番	天坂 昭市	12番	成田 克子	13番	佐々木 直光
14番	佐々木 慶和	15番	平川 豊	16番	山本 清秋
17番	伊藤 良二	18番	松橋 勝利	19番	白戸 勝茂
20番	高橋 作藏				

欠席委員（1名）

3番 佐々木 敬藏

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

市 長	福 島 弘 芳
副 市 長	倉 光 弘 昭
教 育 長	葛 西 岷 輔
選挙管理委員会委員長	成 田 照 男
農業委員会会長	山 本 康 樹
監 査 委 員	長谷川 勝 則
総 務 部 長	今 正 行
財 政 部 長	加 藤 靖
民 生 部 長	山 谷 智
福 祉 部 長	白 戸 登
経 済 部 長	山 内 信 昭
建 設 部 長	宮 崎 朋 仁
会 計 管 理 者	菊 地 芳 生
教 育 部 長	長 内 信 行
消 防 長	山 口 一 寿
選挙管理委員会事務局長	木 村 真 悦
農業委員会事務局長	小山内 健 二
監査委員事務局長	工 藤 賢 聖
総 務 課 長	高 橋 一 也
財 政 課 長	平 田 光 世
市 民 課 長	台丸谷 績
福 祉 課 長	佐 藤 廣 文
農林水産課長	工 藤 睦 郎
土 木 課 長	小笠原 康 人
教育総務課長	長 内 清 範
消防本部総務課長	山 崎 和 人

職務のため議場に出席した者の職氏名

事 務 局 長	成 田 幸 祐
事務局次長兼総務係長	秋 田 俊
事務局次長兼議事係長	葛 西 正 美
事 務 局 主 幹	野 村 麻 子

◎開会、開議宣告

○臨時委員長（松橋勝利君） それでは、委員長が決定するまでの間、臨時に委員長の職務を行います。

ただいまの出席委員数は19名です。定足数に達しておりますので、予算特別委員会を開会します。

（午前10時17分）

◎委員長の互選

○臨時委員長（松橋勝利君） 直ちに委員長の互選を行います。

お諮りします。互選の方法については、指名推選にしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○臨時委員長（松橋勝利君） ご異議がないようであります。

互選の方法は、指名推選とします。

指名の方法は、私から指名することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○臨時委員長（松橋勝利君） ご異議なしと認め、私から指名します。

委員長に成田博委員を指名します。

ただいまの指名にご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○臨時委員長（松橋勝利君） ご異議なしと認めます。

委員長に成田博委員が当選しました。

ただいま当選した成田博委員が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定により当選を告知します。

ここで委員長と交代いたします。以上。

〔委員長交代〕

◎副委員長の互選

○委員長（成田 博君） 皆様より委員長にご推挙いただきましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

委員並びに理事者の皆様のご協力のもと、円滑な委員会の運営に当たりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。それでは、座らせていただきます。

これより副委員長の互選を行います。互選の方法は、指名推選にしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ご異議なしと認め、互選の方法は指名推選とします。

指名の方法は、私から指名することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ご異議なしと認め、私から指名します。

副委員長に木村良博委員を指名します。

ただいまの指名にご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ご異議なしと認め、副委員長に木村良博委員が当選しました。

ただいま当選した木村良博委員が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定により当選を告知します。

◎散会の宣告

○委員長（成田 博君） 付託されました議案の審査は12日月曜日、午前10時から行うことにいたしまして、本日はこれにて散会いたします。

（午前10時22分）

第 2 号

平成 2 9 年 6 月 1 2 日 (月曜日)

平成29年第2回つがる市議会定例会予算特別委員会会議録

議事日程（第2号）

平成29年 6月12日（月曜日）午前10時開議

1 開議宣告

1 議事日程

- 議案第40号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件
（平成28年度つがる市一般会計補正予算（第7号））
- 議案第41号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件
（平成28年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第5号））
- 議案第42号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件
（平成28年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号））
- 議案第43号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件
（平成28年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第5号））
- 議案第44号 平成29年度つがる市一般会計補正予算（第1号）案
- 議案第45号 平成29年度つがる市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第46号 平成29年度つがる市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第47号 平成29年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第48号 平成29年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第49号 平成29年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第1号）案

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（20名）

1番	齊藤 渡	2番	田中 透	3番	佐々木 敬藏
4番	長谷川 榮子	5番	成田 博	6番	木村 良博
7番	佐藤 孝志	8番	長谷川 徹	9番	三上 洋
10番	野呂 司	11番	天坂 昭市	12番	成田 克子
13番	佐々木 直光	14番	佐々木 慶和	15番	平川 豊
16番	山本 清秋	17番	伊藤 良二	18番	松橋 勝利
19番	白戸 勝茂	20番	高橋 作藏		

欠席委員（なし）

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

市 長	福 島 弘 芳
副 市 長	倉 光 弘 昭
教 育 長	葛 西 岷 輔
選挙管理委員会委員長職務代理者	今 久 夫
農業委員会会長	山 本 康 樹
監 査 委 員	長谷川 勝 則
総 務 部 長	今 正 行
財 政 部 長	加 藤 靖
民 生 部 長	山 谷 智
福 祉 部 長	白 戸 登
経 済 部 長	山 内 信 昭
建 設 部 長	宮 崎 朋 仁
会 計 管 理 者	菊 地 芳 生
教 育 部 長	長 内 信 行
消 防 長	山 口 一 寿
選挙管理委員会事務局長	木 村 真 悦
農業委員会事務局長	小山内 健 二
監査委員事務局長	工 藤 賢 聖
総 務 課 長	高 橋 一 也
財 政 課 長	平 田 光 世
市 民 課 長	台丸谷 績
福 祉 課 長	佐 藤 廣 文
農林水産課長	工 藤 睦 郎
土 木 課 長	小笠原 康 人
教育総務課長	長 内 清 範
消防本部総務課長	山 崎 和 人

職務のため議場に出席した者の職氏名

事 務 局 長	成 田 幸 祐
事務局次長兼総務係長	秋 田 俊
事務局次長兼議事係長	葛 西 正 美
事 務 局 主 幹	野 村 麻 子

◎開議宣告

○委員長（成田 博君） おはようございます。ただいまの出席委員数は20名です。定足数に達していますので、これより本日の会議を開きます。

なお、本日選挙管理委員会委員長より欠席の届け出があり、職務代理者が出席しておりますので、報告いたします。

（午前10時00分）

◎議案第40号の説明、質疑

○委員長（成田 博君） 本委員会に付託された案件は、議案第40号から議案第49号までの予算案10件です。

説明員については、さきに配付した名簿のとおりです。

審査方法は、議案ごとに質疑を行い、質疑終了後、一括して討論、採決とします。

これより議案の質疑を行います。

議案第40号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（平成28年度つがる市一般会計補正予算（第7号））を議題といたします。

説明を求めます。

加藤財政部長。

○財政部長（加藤 靖君） 改めまして、おはようございます。議案第40号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件についてご説明申し上げます。

地方自治法第179条第1項の規定により、次のとおり専決処分したから、同条第3項の規定に基づき、これを報告し、その承認を求めるものでございます。

専決第4号 平成28年度つがる市一般会計補正予算（第7号）。

平成29年6月5日提出、つがる市長。

次のページをお願いします。専決第4号でございます。平成28年度つがる市の一般会計補正予算（第7号）は、次に定めるところによる。

第1条において、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億7,271万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を262億2,957万円とするものでございます。

第2条においては繰越明許費の追加を、第3条においては地方債の補正をしてございます。

上記、地方自治法第179条第1項により専決処分する。平成29年3月31日、つがる市長。

この専決処分による補正予算は、平成28年度において実施した各事務事業の確定、事業実績に基づき予算額を調整したものでございます。

それでは、補正予算の概要について、歳出よりご説明申し上げます。19ページをお願いいたしま

す。2段目になります2款総務費、財政管理費でございます。積立金6億1,931万1,000円を計上してございます。これにつきましては、平成28年度特別交付税など各種交付金の確定及び本補正予算の歳入歳出の差し引きの調整を行った結果、財政調整基金に3億1,930万2,000円、減債基金に3億2,000円積み立てを行ったものでございます。

次に、23ページをお願いいたします。2段目になります保育所運営費でございます。扶助費、保育所運営費4,314万6,000円を減額してございます。これにつきましては、実績に伴う精査による減額となっております。

次に、下段でございます。環境衛生費1,564万3,000円を減額してございます。19節負担金239万6,000円の減額につきましては、企業債償還利子が下がったことによる減額、24節出資金1,324万7,000円の減額につきましては、人件費の減、事業費などの確定に伴い、それぞれ減額してございます。

次に、24ページをお願いいたします。下から2段目になります総合健診センター費でございます。これにつきましては、事業費が確定したことにより委託料、工事請負費、備品購入費それぞれ減額となったものでございます。

次に、下の25ページになります。6款農林水産業費、農業振興費でございます。【12】番になります。地域おこし協力隊事業費934万円の減額でございます。これにつきましては、農業支援などを通し、都市部から定住促進、定着を図る事業ですが、応募がないことから減額してございます。

次に、26ページをお願いいたします。【14】番になります被災農業者支援事業6,030万7,000円を減額してございます。これにつきましては、昨年4月の暴風被害に伴う災害農業者に対する支援事業で、それぞれ補助額が確定したことにより減額してございます。

次に、下のページ、27ページになります。下段でございます。8款土木費、道路新設改良費でございます。社会資本整備総合交付金事業費6,063万3,000円を減額してございます。これにつきましては、稲盛芦沼線道路改良舗装工事に伴うもので、事業費の精査などによりそれぞれ減額となっております。

次に、28ページをお願いいたします。上から2段目でございます。9款消防費、常備消防費でございます。1,955万2,000円を減額してございます。これにつきましては、高機能消防指令センター整備事業が完了したことに伴い、委託料、工事請負費をそれぞれ減額してございます。

次に、30ページをお願いいたします。中段でございます。11款公債費、公債費5,921万7,000円を減額してございます。元金につきましては、利率の高い起債について繰上償還を行ったことに伴うものでございます。2,914万4,000円の減額。利子3,007万3,000円につきましては、5年ごとの利率を見直したことにより減額となったものでございます。

以上が歳出の概要でございます。

次に、歳入についてご説明申し上げます。10ページにお戻りください。一番上になります1款市

税でございます。市たばこ税248万1,000円の減額、これにつきましては近年健康のために禁煙者の増加及び喫煙人口の減少によるものと思っております。248万1,000円の減ということでございます。

次に、2段目の地方揮発油譲与税を初め、以下の譲与税、交付金につきましては、国並びに県の交付決定に伴い増額または減額となっております。

次に、11ページ中段になります地方交付税でございます。これにつきましては、特別交付税の額が確定したことにより増額となったものでございます。特別交付税の総額は、これにより9億3,727万7,000円となり、普通交付税と合わせまして105億5,939万6,000円となったものでございます。

次に、12ページをお願いいたします。下段になります14款国庫支出金でございます。2節児童福祉費負担金、保育所運営費負担金1億2,175万9,000円の減額となっております。これにつきましては、実績に伴う精査により減額としてございます。

次に、14ページのほうをお願いいたします。2段目になります15款県支出金、2節児童福祉費負担金、保育所運営費負担金6,087万9,000円の減額となっております。これにつきましても国庫支出金同様、実績に伴う精査により減額としてございます。

次に、17ページをお願いいたします。上から3段目になります合併振興基金繰入金1億3,115万7,000円を計上してございます。これにつきましては、広域水道企業団受水参加負担金でございます。一般財源で予算措置しているもので、財源の組み替えを行ったものでございます。

次に、一番下の21款市債になります。1億40万円を減額してございます。これにつきましては、コミュニティーセンター建設事業を初め、各事業の確定により減額となったものでございます。

以上が平成28年度一般会計補正予算（第7号）専決処分した事項についての主な事業の概要説明といたします。ご審議のほうよろしくをお願いいたします。

○委員長（成田 博君） 説明が終わりました。

これより歳入歳出全般について質疑を行います。なお、質疑の際は、ページと項目を示してください。

7番、佐藤孝志委員。

○7番（佐藤孝志君） ただいまの説明で大体感じはつかんだのですが、まずは12ページの14款1目民生費国庫負担金並びに14ページ、15款1目の民生費県負担金、ともに保育所運営負担金なのですが、昨年に比べてなぜこんなに減額が大きくなったのか。今事業精査云々というような話ありましたが、その内容についてももう少し詳しくお聞かせいただきたいなと思います。

それから、もう一点ですが、16ページ、17款1目の一般寄附金、節区分の説明で2,015万6,000円とありますが、これはどういう類いの寄附金なのかお伺いしたい。

この2点についてお願いします。

○委員長（成田 博君） 答弁を求めます。

福祉部長。

○福祉部長（白戸 登君） 佐藤委員の12ページの私立保育所運営費の国庫負担金と14ページの県負担金の内訳でございます。私立保育所の運営費の負担金は、園児数や職員の配置等に基づく基本部分と各園で実施する一時預かりや延長保育、また職員の処遇改善などの加算分で構成されております。

今回の減額は、当初予算を積算する上で、一時預かりや延長保育、それから職員の処遇改善などの加算分2億4,351万8,000円を誤って二重に積算してしまい、その2分の1の国庫負担金1億2,175万9,000円、その4分の1の県負担金6,087万9,000円を過大なまま歳入に計上したため減額したものでございます。まことに申しわけございません。

なお、県、国の28年度負担金は12月時点の利用状況において概算で確定しましたが、現在最終の実績を積算した結果、国の負担金が2,903万2,000円、県の負担金が2,115万8,000円、合わせて5,019万円が29年度に追加交付される予定でございます。まことに申しわけございません。

○委員長（成田 博君） 総務課長。

○総務課長（高橋一也君） おはようございます。私のほうからは、佐藤委員の質問にありました一般寄附金について説明させていただきます。

16ページの一般寄附金2,015万6,000円の補正ですけれども、このうち15万6,000円は通常の寄附金といたしますか、善意の寄附金でございますが、2,000万円については寄附者が図書購入費に限定してくださいと、そういうことでありました寄附です。ですので、29年度の教育費の補正に図書購入費として2,000万円補正しております。

以上です。

○委員長（成田 博君） 佐藤委員。

○7番（佐藤孝志君） 保育所の関係については、今部長の謝りも入っていました。今後そういう間違いのないように、ひとつ厳正に事業を進めていただきたいなど、そのように思います。

それから、寄附金なのですが、できればどこの方で、個人情報もあるので、それはあれなのかわかりませんが、もし地域とか地区とか県外とか県内とか、その辺のところで差し支えないところをお願いしたいと思います。

○委員長（成田 博君） 総務課長。

○総務課長（高橋一也君） この寄附金の寄附者は、絶対に名前とか住んでいるところとか、匿名でということでしたので、質問にはちょっとお答えできませんので、ご了承ください。

○委員長（成田 博君） 佐藤委員。

○7番（佐藤孝志君） わかりました。それは、寄附された方のそれをやっぱり考えないといけないということだろうと思います。

そういう中で、そうすると29年度の予算の第1号補正で2,000万を図書購入費ということに充てた

ということでいいですね。ありがとうございます。わかりました。

○委員長（成田 博君） 18番、松橋勝利委員。

○18番（松橋勝利君） それでは、私のほうからは、12ページの保育所運営費負担金、先ほど部長が簡単に説明はしたのだけれども、実績に伴う云々、こう言っているけれども、これは当然そうなると思うけれども、ただここで1億2,175万9,000円と、これはあくまでも括弧して私立と書いているのだけれども、もちろん実績は実績でこれは当然だけれども、これだけの減額補正する事前のあれがもっとわかっていなければだめなのではないかと、こういう感じがするわけ。その辺、実績は実績だけれども、何がこれだけ狂った原因になっているのか、そこを一つ。

○委員長（成田 博君） 福祉部長。

○福祉部長（白戸 登君） 松橋委員のおっしゃるとおりでございます。まずこれは、平成27年11月の予算編成時が平成27年度からの制度改正から間もないことから、制度に対する不理解も原因にあるのかなと考えております。いずれにしても、事務を取り扱う職員としてはあってはならないことであり、おわびのしようもありません。今後二度とこのようなことがないよう気をつけて事務処理を行ってまいりますので、ご了承お願いいたします。

○委員長（成田 博君） 松橋委員。

○18番（松橋勝利君） 今の話で言うと、制度が始まって、なかなかそのところがじっくりいかなかった。そういうことになれば、これはある程度理解もするのだけれども、そういうところはやっぱりあなた方もこれだけ狂う、今はわかった、内容わかったからいいけれども、これからはそういうものをもっと勉強して、きちっと把握しながら、今後いろんな面においてもこれをやってもらいたいと、こういうことでこの件はいいです。

次に行きます。次は、19ページの歳出の企画費、これが352万3,000円の減額補正になっている。

この説明のところを見ますと、どうも移住者マイホーム応援事業補助金272万円、このマイホーム応援事業補助金、これは移住者が予定よりも少なくなったというのか、その辺の説明を。

○委員長（成田 博君） 総務課長。

○総務課長（高橋一也君） 松橋委員の質問にお答えします。

19ページの移住者マイホーム応援事業補助金の減額についてですけれども、予算額は400万円で272万円の減額で、決算が128万円です。128万円の内訳が、この事業は、つがる市への移住を促進し、まちづくりを図るため、つがる市に定住する意思を持って転入してマイホームを取得する移住世帯にその家の取得費の一部を補助するものですけれども、最大50万円まで補助があるので、結果として3世帯、13人の移住者がありまして、予算積算時よりも少なかったということで減額補正しております。

以上です。

○委員長（成田 博君） 松橋委員。

○18番（松橋勝利君） 今の説明で、人数で言えば13人の家族というか、そういうことのようにあつたけれども、人口減少対策としてもこれは当然大いにやらなければならないことだと思うけれども、ただそこにおいてもうちょっとPR、これが私に言わせればもっと幅広く、たしか私のところにもつがる市ではこういうことをやっているという問い合わせが来た経緯もあります。そういう面でPRがちょっと足りないのではないかな、こういう感じを私は持っているので、それについて一言。

○委員長（成田 博君） 総務課長。

○総務課長（高橋一也君） 松橋委員のおっしゃるとおりでして、改善できる点があれば今後改善して、いい制度にしていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○委員長（成田 博君） 2番、田中透委員。

○2番（田中 透君） 23ページです。3款2項4目の保育所運営費の20節扶助費でありますけれども、先ほど精査による減額と、4,000万円ほどの減額でありますけれども、この内訳を若干教えてほしいと思います。

○委員長（成田 博君） 福祉部長。

○福祉部長（白戸 登君） 田中委員の質問にお答えします。

23ページの保育所運営費4,014万6,000円の減額の内訳でございます。市内の私立保育所にかかわる保育所運営費が4,314万6,000円の減額、市外の私立保育所にかかわる広域委託保育所運営費を300万円の増額で補正しております。これは、今年度の支払いがほぼ固まり、不用額を調整しました。

なお、減額が大きくなったのは、当初予算を過大に見積もったためでございます。また、28年度の扶助費の保育所運営費は、市内、市外合わせて11億6,613万円になる見込みでございます。

以上でございます。

○委員長（成田 博君） 6番、木村良博委員。

○6番（木村良博君） 24ページ、総合健診センター費について伺いたいと思います。

完成したわけですが、まずいつごろから運営開始になるのかお知らせいただければ。

○委員長（成田 博君） 福祉部長。

○福祉部長（白戸 登君） 運営については、現在まだ実際の特健健診が実施されていないので、4月から5月の間は健康相談という形で使用しております。今後健診いわゆる健康相談、それから食改の事業など、6月の中盤から実質本稼働といいますか、活用になっていくかとは思っております。

以上です。

○委員長（成田 博君） 木村委員。

○6番（木村良博君） 今の説明を聞けば、健診結果に応じて異常あった人に指導すると、そういう説明でよろしいですか。そうすれば、健診受けて異常あったと、そういう人には全てご案内してやる予定ですか。

○委員長（成田 博君） 福祉部長。

○福祉部長（白戸 登君） 健診結果で問題になった方には通知を出して、まずは相談という段階になるかと思います。

以上です。

○委員長（成田 博君） 木村委員。

○6番（木村良博君） かなりの人数、健診を受けている人がつがる市内にはいると思います。そうすれば、その人数によれば相当数指導人数がふえるわけだ。では、職員の配置はどうなっていくのですか。常駐するのですか。その辺のところは。

○委員長（成田 博君） 福祉部長。

○福祉部長（白戸 登君） その点につきましては、常駐は現在のところまだ考えておりませんが、健診センターを活用して事業を進めていくということで考えております。

○委員長（成田 博君） 木村委員。

○6番（木村良博君） これだけの予算をかけて、立派な総合健診センターが完成したわけだ。これを最大限生かすと、地域住民の安心、安全を守るため、健康を守るために活用するという、そういうふうになっていくとすれば、やっぱり職員の常駐は必要ではないかと、こう思いますが、そこら辺のところは市長はどうお考えですか。

○委員長（成田 博君） 福島市長。

○市長（福島弘芳君） 今委員が言われましたように、せっかく診療所の隣にあわせてこれだけの予算をかけてやったのですから、市民のことを全般的に考えれば常駐というようなことも考えていかなければならないというふうに思います。

○委員長（成田 博君） 4番、長谷川榮子委員。

○4番（長谷川榮子君） 16ページ中ほどの財産収入のところですけども、土地、建物の売り払い代金、どこを売ったのか、まずそこを教えてください。

○委員長（成田 博君） 答弁を求めます。

財政部長。

○財政部長（加藤 靖君） 長谷川委員のご質問にお答えいたします。

この土地の売り払い179万6,000円に関しましては、川除にあります秋桜団地、この1区画がことしの2月23日に売買契約を結びまして、それで売り払ったものでございます。

以上です。

○委員長（成田 博君） 長谷川委員。

○4番（長谷川榮子君） 一般質問で取り上げて、これからの土地の売り払い、建物の解体とか、そういうのに非常に興味がありまして、今質問したのですけれども、きょうこの総合計画書とかいただいて、まだ見ていませんけれども、大変興味があります。

秋桜団地を売ったのだそうですが、坪単価はどのぐらいですか。

○委員長（成田 博君） 財政部長。

○財政部長（加藤 靖君） 平米が5,600円掛ける3だから、1万5,000円ぐらいとしてございます。

○委員長（成田 博君） 長谷川委員。

○4番（長谷川榮子君） 坪単価が1万5,000円ぐらい。実は何でこんな質問するかというと、合併前、木造町時代に私は土地の評価額を当時の町長さんに伺ったことがあります。というのは、当時、今の五所川原のエルムの近く、稲実近辺が坪6万5,000円ぐらいのときに、木造の中心部に近いこのあたりが9万近くしたのです。私は高いのではないか、もう少し土地の評価額を下げても若い人たちに住んでもらうようにするべきではないかというふうに発言したことを覚えています。そのときに当時の町長さんが、「木造は文化の町である。民度の高い人が住むから土地が高く当たり前なのだ」、こういう答弁をいただきました。私は、そのときのことが今でも忘れられないのです。土地の評価額によって随分人口流出を抑えることができたのではないかという思いがありまして、一般質問でも取り上げましたけれども、これからこういう件が多く出てくると思います。しっかりと査定して、そして評価額なんかも近隣市町村と合うような、そういうやり方をしていかなかったら、なかなか売れないと思うのです。そういう意味で今回質問しておりますので、よろしくをお願いします。

○委員長（成田 博君） 答弁よろしいですか。長谷川さん、答弁は。

○4番（長谷川榮子君） いいです。

○委員長（成田 博君） 木村良博委員。

○6番（木村良博君） 25ページ、一番下段の地域おこし協力隊事業費、説明若干あったのですがけれども、ここについてもう少し詳しく説明を伺いたいと、こう思います。

○委員長（成田 博君） 経済部長。

○経済部長（山内信昭君） 木村委員のご質問にお答えします。

地域おこし協力隊というのは、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者で、一定期間その地域に居住し、地域ブランドや地場製品の開発やPR等の地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民の生活支援などの地域協力活動を行いながら、地域の定住を図る者を市が地域おこし協力隊として委嘱するものです。28年当初では2名を見込んだのですが、残念ながら1名も採用がなかったということで、今回減額となりました。

○委員長（成田 博君） 木村委員。

○6番（木村良博君） 応募者がなかったと、こういう説明ですが、どういう応募内容で全然応募者がいないのか。

○委員長（成田 博君） 経済部長。

○経済部長（山内信昭君） 募集方法としては、一般社団法人移住・交流推進機構のホームページでの募集をメインとして、市のホームページやふるさと回帰支援センターでの募集相談やPRコーナー

一の活用、また応募フェアってあるわけなのですけれども、そちらのほうへ職員が行って広く周知を図ったのですけれども、問い合わせは何件か来たのですけれども、採用までには至らなかったということです。

○委員長（成田 博君） 松橋勝利委員。

○18番（松橋勝利君） 20ページの総務費のところの戸籍住民台帳費だけれども、ここで19の通知カード・個人番号カード関連事務委任交付金237万3,000円を盛っているのだけれども、個人番号カード云々、その内容の説明。

○委員長（成田 博君） 市民課長。

○市民課長（台丸谷 績君） それでは、松橋委員のご質問にお答えいたします。

今回237万3,000円を補正いたしますと、補正予算は557万5,000円となります。そのうち268万9,000円は、29年度へ繰り越すこととなります。28年度予算が288万6,000円なのですが、この発行する際の歳出の予算は100%国のほうから交付されます。なお、28年度の個人番号カードの交付枚数は2,555枚発行されております。

以上です。

○委員長（成田 博君） 松橋委員。

○18番（松橋勝利君） この個人番号のカード、今二千何百枚とかと、これのカードはそれこそどういう制度というか、そのカードを何かいま一度、その辺、新しく、どういうあれ。全住民に配るわけではないのだろう。その辺詳しく。

○委員長（成田 博君） 市民課長。

○市民課長（台丸谷 績君） 個人ナンバーカードは、本人の申し込みにおいて発行されます。発行する機関は、地方公共団体情報システム機構、略称J-L I Sというのですが、市のほうで申し込みを受けまして、そちらのほうへ個人ナンバーカードの発行を依頼して、そちらから個人番号カードが市役所へまた返ってきて、本人が市役所のほうにとりに来て、それで発行されるという手続になっております。

以上です。

○委員長（成田 博君） 松橋委員。

○18番（松橋勝利君） わかったけれども、それで今現在つがる市でさっき言った二千何百枚、そのくらいしかまだ申し込みというか、それはないわけなのか。そうすれば、パーセントでいけば何%にも当たらないのではないか。その辺。

○委員長（成田 博君） 市民課長。

○市民課長（台丸谷 績君） 28年度に交付された枚数は2,555枚でございます。今現在つがる市の交付率は9.4%となっております。全国的に見ますと、まだ8%台という状況でありまして、交付率の上昇についてはまだまだこれから時間がかかるのかなというふうに考えております。

以上です。

○委員長（成田 博君） 松橋委員。

○18番（松橋勝利君） 次は、24ページの衛生費のところだけでも、最終処分場の建設事業費のところでも588万6,000円減額になっているのだけれども、これを見ますと調査・設計業務委託料とかでなっているのだけれども、これはもう完全にとりつか、今もやっているのか、これから車力のほうにもまだ処分場はあるけれども、あれはいつまであれするのか。

○委員長（成田 博君） 民生部長。

○民生部長（山谷 智君） ただいまの松橋委員のご質問にお答えします。

まず、最終処分場の建設計画・調査・設計業務委託料として588万6,000円減額になったわけですが、この設計予定価格1億5,168万に対して入札価格が1億112万での落札となりましたので、28年度予算から30年度の3カ年の債務負担行為により措置しております。28年度契約額が税込み1,062万7,200円となることから、差引額588万6,000円の入札減となったものでございます。

続きまして、車力の処分場の件につきましては、去年あたりも議題に上がったのですが、今現在ほぼ満杯状態で、あと一、二年が限界かと思われております。それで、先ほどの答弁もありましたけれども、最終処分場を木造、稲垣地区の現在建っている奥地のほうに今建設するわけですが、それを31年、32年度の2カ年で建設して、そこへ一括集約したいという方向で今計画している段階です。

○委員長（成田 博君） 松橋委員。

○18番（松橋勝利君） この処分場、車力のほうはそうするとあと2年か幾らで閉鎖になると。そういうことになれば、どうしても車力地区からこっちのほうまでというのは、なかなか大儀というか、一般質問でもいろいろ不法投棄のあれ出ていたけれども、あそこはやっぱり全然隣接とかで、めどが立たなくて、もうどうしてもこっちのほうへ一本に絞ったと、こういう結果になると思うのだけれども、今ここに来てそういうのをやってもしょうがないけれども、それに関連して、ごみの収集のこれをまだ十分理解していない人があるようで、その辺も粗大ごみとかなんとか収集するその日あたりは、何か防災無線あたりで放送するとか、そういうことで不法投棄も防げるのではないかなと、こう思うのだけれども、その辺はどうだ。これは私の考えだ。これは部長どう思うか。

○委員長（成田 博君） 民生部長。

○民生部長（山谷 智君） 確かに不法投棄の監視は、ある程度、委員として何人か現場を回って点検とかしているのですが、いずれにしても廃棄物の不法投棄及び先日一般質問でも成田議員のほうからも質問ありましたけれども、空き缶とかのポイ捨ても一向になくならない。やっぱりマナーがなっていないということが現実なので、今松橋委員がおっしゃられたとおり、粗大ごみとかそういう日をカレンダーではうたっているものの、住民に周知を図って、そこにきちんと集約するように、これから担当課としても努力していきたいと思っておりますので、ご了承願えればと思います。

○委員長（成田 博君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ないようですので、議案第40号の質疑を終わります。

◎議案第41号の説明、質疑

○委員長（成田 博君） 議案第41号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（平成28年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第5号））を議題といたします。

説明を求めます。

山谷民生部長。

○民生部長（山谷 智君） 改めて、おはようございます。それでは、議案第41号についてご説明申し上げます。

専決処分した事項の報告及び承認を求める件でございます。

地方自治法第179条第1項の規定により、次のとおり専決処分したから、同条第3項の規定に基づき、これを報告し、その承認を求めるものでございます。

専決第5号 平成28年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）でございます。

今回の補正は、既定の歳入歳出の総額から歳入歳出それぞれ5,821万8,000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ63億1,866万4,000円とするもので、平成29年3月31日に専決処分をしております。

それでは、歳入歳出の主な項目について説明させていただきます。まずは、歳出をご説明いたします。8ページをお開き願います。第7款共同事業拠出金、1項1目高額医療費拠出金2,917万3,000円の減額と同項3目保険財政共同安定化事業拠出金1億3,666万8,000円の減額は、いずれも事業に要する経費が確定したことによる減額補正でございます。

次に、9款1項1目基金積立金1億762万3,000円の増額ですが、平成28年度の剰余金の一部を財政調整基金として積み立てするものでございます。

続きまして、歳入についてご説明いたします。5ページにお戻り願います。第3款国庫支出金、1項1目の療養給付費等負担金1,726万円の増額は、それぞれ医療費、給付費が確定したことによる増額で、同2項1目財政調整交付金7,908万9,000円の減額は普通調整交付金で1億3,004万3,000円の減額、その他特別調整交付金で5,095万4,000円の増額によるものでございます。いずれも平成28年度の交付金が確定したことにより補正したものでございます。

続きまして、第6款県支出金、2項1目財政調整交付金2,368万3,000円の増額ですが、内訳といたしまして、普通調整交付金2,232万5,000円の減額、特別調整交付金4,600万8,000円の増額によるもので、いずれも平成28年度の交付金が確定したことにより補正したものでございます。

次に、7款共同事業交付金、1項1目高額医療費共同事業交付金3,264万円の増額と同項2目保険

財政共同安定化事業交付金4,372万4,000円の減額は、いずれも事業の交付額が確定したことによる補正でございます。

次に、9款繰入金、1項1目一般会計繰入金1,449万4,000円ですが、歳出における出産育児一時金の減額に伴い617万1,000円を減額補正し、財政安定化支援事業繰入金2,066万4,000円を普通地方交付税基準財政需要額により増額補正するものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしく申し上げます。

○委員長（成田 博君） 説明が終わりました。

質疑を行います。ございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ないようですので、議案第41号の質疑を終わります。

ここで休憩いたします。

休憩 午前10時54分

再開 午前11時10分

○委員長（成田 博君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

◎議案第42号の説明、質疑

○委員長（成田 博君） 議案第42号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（平成28年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号））を議題とします。

説明を求めます。

山谷民生部長。

○民生部長（山谷 智君） それでは、議案第42号についてご説明申し上げます。

専決処分した事項の報告及び承認を求める件でございます。

地方自治法第179条第1項の規定により、次のとおり専決処分したから、同条第3項の規定に基づき、これを報告し、その承認を求めます。

専決第6号 平成28年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）でございます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,296万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億7,016万1,000円とするもので、平成29年3月31日専決処分をしております。

それでは、歳入歳出の主な項目について説明させていただきます。最初に、歳出をご説明いたします。6ページをお開き願います。第2款1項1目の後期高齢者医療広域連合納付金1,406万4,000円の補正額でございますが、保険料負担金の確定による増額補正でございます。

次に、第3款諸支出金、2項1目一般会計繰出金110万4,000円の減額でございますが、歳入歳出の調整のため減額補正するものでございます。

続きまして、歳入をご説明いたします。5ページにお戻り願います。第1款後期高齢者医療保険料、1項1目特別徴収保険料101万9,000円の減額ですが、後期高齢者特別徴収保険料の収入額の減による減額補正でございます。

次に、同項2目普通徴収保険料の現年度分1,397万9,000円の補正額ですが、後期高齢者普通徴収保険料の収入額増による増額補正でございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○委員長（成田 博君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

松橋勝利委員。

○18番（松橋勝利君） 歳出の6ページの今部長が説明もしたけれども、負担金補助及び交付金の後期高齢者医療広域連合納付金の1,406万4,000円の補正でありますけれども、何か我々にすれば負担金というのは決定して事前にわかっている。それが何かこれだけ、一千何百万も新たにまた負担というのは、何かそういうところの見通しというか、その辺はどういうあれか。

○委員長（成田 博君） 市民課長。

○市民課長（台丸谷 績君） 松橋委員のご質問にお答え申し上げます。

後期高齢者の医療の納付金なのですが、これは集めた保険料は広域連合のほうへ全額納付する必要があります。今回28年度分というのは、28年度は3月分から29年の2月分の12カ月分を集めた保険料を広域連合のほうに納付する必要があります。その額が確定したために今回専決予算をもって増額して納付するという予算でございます。19節の負担金というのは、予算書の作成上、ここの19節に計上しなさいということですので、ここで納付金ということで計上しているものでございます。よろしく願います。

○委員長（成田 博君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ないようですので、議案第42号の質疑を終わります。

◎議案第43号の説明、質疑

○委員長（成田 博君） 議案第43号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（平成28年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第5号））を議題とします。

説明を求めます。

白戸福祉部長。

○福祉部長（白戸 登君） それでは、議案第43号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件でございます。

地方自治法第179条第1項の規定により、次のとおり専決処分したから、同条第3項の規定に基づ

き、これを報告し、その承認を求める。

専決第7号 平成28年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第5号）。

次のページをお願いします。専決第7号、平成28年度つがる市の介護保険特別会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

既定の歳入歳出予算の総額からそれぞれ1,663万1,000円を減額し、歳入歳出それぞれ44億3,011万6,000円とする。

上記、地方自治法第179条第1項により専決処分する。

平成29年3月31日、つがる市長、福島弘芳。

歳出からご説明いたします。7ページをお願いします。歳出でございます。減額の内訳は、2款の保険給付費で1,663万1,000円を減額し、41億9,019万8,000円にしたものでございます。これは、最終の支払いが確定し、各項目ごとに調整し、補正したものでございます。

まず、2款の介護サービス等諸費で849万8,000円を減額し、36億1,546万5,000円にしたものでございます。これは、介護認定で介護1から5の方に対するサービス給付費でございます。

次に、8ページをお願いします。真ん中の2項の介護予防サービス等諸費で818万8,000円減額し、1億6,636万2,000円にしたものでございます。これは、要介護認定で要支援1、2の方に対するサービス給付費で、比較的介護度が軽い方の給付費でございます。

次に、歳入でございます。5ページをお願いします。歳入です。歳入は、保険料や保険給付費に対する国、県などの28年度の補助金や負担金などが確定したことに伴い、各予算項目を調整するため補正したものでございます。

その主なものとしては、まず1款保険料は収納実績に基づき288万増額し、7億854万1,000円にしたものでございます。

次に、3款国庫支出金でございます。428万4,000円を減額し、11億8,911万にしたものでございます。

次に、5款県支出金でございます。1,037万7,000円増額し、6億5,046万3,000円にしたものでございます。

次に、7款繰入金でございます。2,573万6,000円を減額し、6億9,735万5,000円にしたものでございます。

以上が説明でございます。ご審議よろしくお願いいたします。

○委員長（成田 博君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

松橋勝利委員。

○18番（松橋勝利君） 歳入の5ページの1款の第1号被保険者保険料の滞納繰越分普通徴収保険料、ここで288万円の補正額あるのだけれども、これは第1号被保険者の保険料の徴収率は大体どのぐら

いいっているのか。それと今回の288万、これは何人分ぐらいなのか。

○委員長（成田 博君） 福祉部長。

○福祉部長（白戸 登君） 松橋委員のご質問にお答えいたします。

介護保険は、保険料について年金から徴収する特別徴収保険料と一般に納付書で納めてもらう普通徴収保険料がございます。まず特別徴収の保険料でございますが、調定が6億3,218万2,500円、特別徴収については徴収率は100%でございます。普通徴収の保険料の現年度分ですが、28年度の現年度分が調定で8,384万1,384円、収納額が7,502万3,084円、未納額が881万3,300円で、収納率としては89.5%になっております。

それで滞納繰り越し分でございます。調定額が2,274万699円に対し、収納額が598万4,538円で、未納額が1,675万6,161円で、収納率が26.3%でございます。全体としては、特別徴収、普通徴収合わせて96.5%でございます。現在の未納の総額が2,557万4,461円で、実人数としては328人が滞納してございます。

以上でございます。

○委員長（成田 博君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ないようですので、議案第43号の質疑を終わります。

◎議案第44号の説明、質疑

○委員長（成田 博君） 議案第44号 平成29年度つがる市一般会計補正予算（第1号）案を議題とします。

説明を求めます。

加藤財政部長。

○財政部長（加藤 靖君） 議案第44号 平成29年度つがる市一般会計補正予算（第1号）案についてご説明申し上げます。

本補正予算は、第1条において既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億8,814万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を224億3,814万5,000円とするものでございます。

第2条においては債務負担行為の追加を、第3条においては地方債の追加、変更について補正を行うものでございます。

平成29年6月5日提出、つがる市長。

本補正予算は、当初予算に見込めなかった経費、緊急を要する経費、また4月の職員人事異動に伴う人件費などの組み替えなどについて予算額の補正を行うものでございます。

それでは、歳出より概要をご説明申し上げます。10ページをお開き願います。2款総務費、一般管理費でございます。19節にコミュニティー助成事業補助金630万円を新たに計上してございます。

これにつきましては、今市、十文字、下牛潟の3自治会が財団法人自治総合センター助成事業の採択を受けまして、除雪機械等を整備するものでございます。財源につきましては、宝くじの補助金630万円を見込んでございます。

次に、20ページ、21ページをお開き願います。20ページ下段になりますけれども、農業振興費、21ページ上段になります【13】番、経営体育成事業費に316万4,000円を新たに計上してございます。これにつきましては、柏地区1法人、1個人が事業の採択を受けたことにより計上してございます。財源につきましては、県補助金316万4,000円を見込んでございます。

次に、10目農業施設管理費でございます。稲垣ライスセンター費に設備改修工事費2,073万6,000円を計上してございます。これにつきましては、ライスセンターに設置されている米の等級を選別する機器、オートチェッカーが修繕不能となったことから、交換並びに付随する設備の改修を行うため、新たに計上してございます。財源につきましては、事業費の2分の1、1,036万8,000円がつがるにきた農協の負担、残りの2分の1が市の負担となりますが、このうち850万円につきましては過疎債の充当を見込んでございます。

次に、22ページをお願いいたします。2段目になります観光費でございます。19節にフィルムコミッション補助金349万8,000円を新たに計上してございます。これにつきましては、県の事業採択を受け、地球村円形劇場において映画上映事業を行うため、新たに計上してございます。財源につきましては、県補助金174万9,000円を見込んでございます。補助率2分の1でございます。

次に、23ページになります。その下になります。道路新設改良費に1億1,220万円を計上してございます。測量設計業務委託料として350万円、道路改良舗装工事費として1億870万円となっております。これにつきましては、柴田地区幹線及び中館濁川線の2地区の側溝、道路舗装改良工事で平成30年度を予定してございましたが、下水道管布設工事が実施されることから、あわせて事業を行うため計上してございます。財源につきましては、過疎債の充当を見込んでございます。

次に、31ページをお願いいたします。下から2段目になります社会教育施設管理費でございます。柏ふるさと交流センター費に1,564万8,000円を計上してございます。工事管理委託料に74万6,000円、屋根改修工事費に1,490万2,000円、これにつきましては年々雨漏りがひどくなり、事業実施に支障が及んでいることから、早急に対応するというので計上してございます。財源につきましては、過疎債の充当を見込んでございます。

次に、その下、図書館費になります。備品購入費に2,000万円を計上してございます。平成28年度に図書購入のためにと一般寄附金がございましたので、それに伴い図書購入するため計上してございます。

以上が歳出の概要でございます。

続きまして、8ページ、9ページ、歳入についてご説明申し上げます。歳入につきましては、県支出金、諸収入、市債につきましては、歳出においてご説明申し上げたとおりでございます。

また、9ページ、20款諸収入の雑入の中で6節消防費雑入681万5,000円を計上してございます。これにつきましては、県の防災航空センターに消防職員を1名派遣したことに伴う人件費となっております。

以上で一般会計補正予算（第1号）案についての説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

以上でございます。

○委員長（成田 博君） 説明が終わりました。

質疑を行います。ございませんか。

松橋委員。

○18番（松橋勝利君） まず最初に、12ページ、賦課徴収費のところだけれども、これは徴収費の人件費で333万9,000円、これは人事異動でわかるのだけれども、人件費が格の違いでこれだけなっているということはわかるのだけれども、今現在税の徴収率が前年度と比較してどのような状況か、まずそこから。

○委員長（成田 博君） 財政部長。

○財政部長（加藤 靖君） 松橋委員の徴収率ということで、今その徴収率の資料、私ちょっと持ってきていませんけれども、ただ1つ、普通税。住民税、固定資産税、軽自動車税、これらにつきましては現年分で98.5%ということで、前年よりも一、二%上回っております。滞納繰り越しに関しましても前年度を上回っております、非常にいい成績というか、徴収率をしてございます。

以上でございます。

○委員長（成田 博君） 松橋委員。

○18番（松橋勝利君） 人件費の高い人が行って徴収率も上がれば、それにこしたことはないので、そういうところを気を緩めることなく、まずもって自主財源の一番必要なところだから、その辺は十分気を緩めないで頑張ってもらいたい。

次に行きます。次は、21ページになります。一番下の林業費、林業振興費のところ、林業・木材産業等振興施設整備事業補助金と、ここで640万ほど見ているのだけれども、これは会社とか個人ではないと思うけれども、その内容をまず説明して。

○委員長（成田 博君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） 松橋委員にお答えいたします。

ページ21、林業振興費の中の林業・木材産業等振興施設整備事業補助金、この中身ですけれども、これは森林整備の効率的かつ円滑な実施及び林業生産コストの低減を図るために必要な高性能林業機械等の導入に支援を行うという事業であります。

事業の中身ですけれども、事業実施主体が青い森国土保全協同組合、現在、元の西中学校で炭とかやっている会社でございます。事業内容については、高性能林業機械の導入、機械の中身ですけ

れども、フェラーバンチャザウルスロボ1台ということで、油圧ショベルというか、パワーショベル1台と、普通パワーショベルはバケットついているのですけれども、そのバケットの部分に木材を寄せたり搬送したり、あと林道をならしたり、あと木材を挟んだり切断したりする機械がセットになったものでございます。これは、財源は国の補助金で3分の1、県と市町村の負担はございません。

以上でございます。

○委員長（成田 博君） 松橋委員。

○18番（松橋勝利君） 我が市で負担あるないとか、そういう経緯で質問していたのでないので、それはいいけれども、ただそうするとこれをやっている会社というか、青い森なんとかと、これは1社、ただ1社。それは、あくまでも個人のいうか、事業をやっている、それをサポートする、そのための県、国の補助金と、こう見ればいいのだな。わかった。

そこで、もう一つあった。上の19の経営体育成支援事業補助金、これもしゃべればよかった、316万4,000円、これの内容。

○委員長（成田 博君） 農林水産課長。

○農林水産課長（工藤睦郎君） 松橋委員にお答えいたします。

経営体育成支援事業補助金でございます。先ほど財政部長のほうからも説明ありましたけれども、事業の採択となったことによる補正であります。地区は柏地区、対象経営体は2経営体となっております。申し込みに際しては、木造、森田、稲垣、車力も申し込みはしておりましたけれども、採択ポイントの基準がありまして、その基準に達したのが柏地区だけということで、今回316万4,000円追加で補正しております。

以上です。

○委員長（成田 博君） 松橋委員。

○18番（松橋勝利君） あとは、24ページの土木費のところの住宅管理費、これが減額で、人件費となっているのだけれども、人件費としては839万6,000円、これだけの減額の内容を説明して。

○委員長（成田 博君） 総務課長。

○総務課長（高橋一也君） 松橋委員の質問にお答えします。

住宅管理費839万6,000円の人件費減額でございますが、これは29年度の当初予算積算した時点での住宅管理費の職員数、3人で積算したわけですけれども、4月1日の人事異動で実際に配置した職員数が2人でございますので、1人減で給料とか手当とか共済費合わせて839万6,000円になったものです。

以上です。

○委員長（成田 博君） 長谷川榮子委員。

○4番（長谷川榮子君） 8ページなのですけれども、私の勘違いかも知れませんが、総務管理費

補助金、未来を変える元気事業補助金とあるのですが、これ読んで字のごとくと言われればそのままだと思うのですが、内容をもうちょっと詳しく教えてもらえませんか。

○委員長（成田 博君） 今総務部長。

○総務部長（今 正行君） 長谷川榮子委員にお答えいたします。

未来を変える元気事業費補助金の内容です。これは、今の総合戦略推進事業、これらに県の補助金を充当しまして、当初予算では移住促進事業、PR事業とか、あとは6次産業化促進事業、それから姉妹都市交流促進事業、これらの事業のほうに県の補助金を充てております。

以上でございます。

○委員長（成田 博君） 木村良博委員。

○6番（木村良博君） 30ページの文化財保護費、ここの中に委託料があるわけですが、予算的にはそう大きいわけではないのですが、まずこれどこに委託しているのか、お知らせ願いたいと思います。

○委員長（成田 博君） 長内教育部長。

○教育部長（長内信行君） 木村委員にお答えします。

こちらは、田小屋野貝塚出土人骨に見る縄文時代の暮らし、これは仮題なのですが、これの特別展示をするものであり、予算が決まり次第、内容について委託するものでございまして、委託先はまだ決まっております。

以上です。

○委員長（成田 博君） 木村委員。

○6番（木村良博君） そうすれば、展示の場所もまだ決まっていない。

○委員長（成田 博君） 教育部長。

○教育部長（長内信行君） 展示の場所でございます。この特別展示でございますけれども、新潟医療福祉大学の協力を得まして、平成29年10月21日からつがる市縄文住居展示資料館、通称カルコなのですけれども、現在2階北側の展示物の保管倉庫、こちらを改修しまして、平成24年度田小屋野貝塚史跡から出土しました人骨1体を特別展示するものでございます。

○委員長（成田 博君） 木村委員。

○6番（木村良博君） 何でこういう質問するかというと、次から関連になるわけですが、私何回も（仮称）縄文ミュージアムの建設について質問しているわけです。その中で答弁するたびに後ろ後ろにずれ込んでいる答弁を聞かされているわけですが、その辺の予定はどうなっているのか聞かせていただきたいと、こう思っております。

○委員長（成田 博君） 教育部長。

○教育部長（長内信行君） 木村委員にお答えします。

これまでつがる市では平成23年度から27年度の第1次総合計画の後期基本計画において、（仮称）

縄文ミュージアムという名前、28年度から平成37年度の第2次総合計画においてはガイダンス施設、資料館、また教育委員会のほうで作成しました「つがる市の教育」等においては、（仮称）亀ヶ岡館ということでご説明していました。このように建設予定施設については、名称とか規模はまだ決定されておりませんが、亀ヶ岡遺跡、田小屋野貝塚に係る展示公開を兼ねたガイダンス施設として位置づけております。これに関しては、北海道・北東北の縄文群の世界遺産登録や学術的見地からもガイダンス施設は遺跡の近隣に設置されることが望ましいものとなっています。

従前の議会において、ガイダンス施設は館岡地区の上水道の供用開始を考慮して建設を進めることになるかと述べていました。今現在の上水道の供用開始予定は、平成33年4月以降の見込みとなっているものでございます。しかしながら、世界遺産登録になった場合、観光客などの対応のために、とても上水道供給までは待てなくなることも予想されます。その場合は、施設管理に井戸水の活用など考慮して規模を検討し、早急に整備していかなければならないものと考えております。

今後、7月下旬の世界遺産登録推薦、この状況を鑑みまして、速やかにこれに当たっては総務部、財政部等と協議いたしまして建設計画を検討して、それで推進していきたいと思っておりますので、議員皆様のご理解をお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（成田 博君） 木村委員。

○6番（木村良博君） 建設部にお聞きします。

今平成33年に上水道供用開始とありましたけれども、そういう理解でよろしいのですか。

○委員長（成田 博君） 建設部長。

○建設部長（宮崎朋仁君） ただいまのご質問にお答えしたいと思います。

私の記憶でいくと、たしかそのあたりの年度だと把握しております。

○委員長（成田 博君） 木村委員。

○6番（木村良博君） 平成33年度には上水道供用開始でいいですね。そうなれば、もうきちんと事業計画は立っていなければだめだと私は思います。その辺は、教育長、どういう見解でいるのか聞かせていただければと。

○委員長（成田 博君） 葛西教育長。

○教育長（葛西岷輔君） 平成26年度に有識者会議というものを3回ほど開きまして、指導を受けてきました。縄文ファンと、特に亀ヶ岡ファンというのは多いわけで、結構訪れているわけで、それに応えていく必要は前から感じていたわけですが、なかなか今委員おっしゃっているところまでいけなかったというのがあるわけですが、ただ7月末に登録の推薦というようなことになれば、それを受けて早めて考えていかなければならないというふうに考えております。

○委員長（成田 博君） 木村委員。

○6番（木村良博君） 世界遺産登録、つがる市として当然目指しているわけですので、もう少し盛

り上がった雰囲気を出すと。それと同時に、事業計画もきちっと計画どおり進むように、何とか教育長、力を入れて頑張っていたきたいと、こう思います。

○委員長（成田 博君） 答弁よろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ここで昼食のため休憩いたします。

休憩 午前 1 1 時 5 1 分

再開 午後 1 時 0 0 分

○委員長（成田 博君） 休憩前に引き続き会議を再開します。

議案第44号の質疑を行います。ございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ないようですので、議案第44号の質疑を終わります。

◎議案第 4 5 号の説明、質疑

○委員長（成田 博君） 議案第45号 平成29年度つがる市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）案を議題とします。

説明を求めます。

宮崎建設部長。

○建設部長（宮崎朋仁君） それでは、議案第45号につきまして私のほうからご説明申し上げます。

議案第45号、平成29年度つがる市の農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

第1条、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億5,397万2,000円とするものであります。

平成29年6月5日提出、つがる市長。

それでは、内容につきまして歳出のほうからご説明していきたいと思えます。まず初めに、7ページ目をお開き願います。こちら1款1項1目一般管理費について、説明欄2の職員に係る人件費について、給与の異動に伴う職員手当、共済組合費の調整を行ったもので、2万8,000円の増額となっております。財源は、一般財源を充当しております。また、財源充当の組み替えも行っております。一般財源で計上しておりました非常勤職員の人件費について、公営企業会計適用債が適用されることになり、起債額を160万円増額し、一般財源157万2,000円を減額したものです。これにより公営企業会計適用債が既決予算と合わせて1,360万円となります。

続きまして、歳入予算をご説明いたします。6ページ目にお戻りください。4款1項1目一般会計繰入金でございます。先ほど歳出でご説明いたしました公営企業会計適用債の増額分160万円と職

員の給与増額分、一般財源 2 万 8,000 円、これを差し引き 157 万 2,000 円の減額としております。

次に、7 款 1 項 1 目農業集落排水事業でございます。こちらも歳出予算の説明にありましたが、非常勤職員の人件費に公営企業会計適用債を適用し 160 万円の増額としております。

以上で説明を終わります。ご審議方よろしくお願ひいたします。

○委員長（成田 博君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ないようですので、議案第 45 号の質疑を終わります。

◎議案第 46 号の説明、質疑

○委員長（成田 博君） 議案第 46 号 平成 29 年度つがる市公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）案を議題とします。

説明を求めます。

宮崎建設部長。

○建設部長（宮崎朋仁君） それでは、議案第 46 号に対しまして私のほうからご説明申し上げます。

議案第 46 号、平成 29 年度つがる市の公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによる。

第 1 条、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 375 万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 7 億 1,049 万 5,000 円とする。

2 項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第 1 表、歳入歳出予算補正による。

平成 29 年 6 月 5 日提出、つがる市長。

それでは、内容につきまして歳出のほうからご説明いたします。6 ページ目をお開き願ひます。

1 款 1 項 1 目一般管理費でございます。こちらは、説明欄の 2 の人件費について、人事異動に伴う調整を行ったもので、給料で 581 万 5,000 円、職員手当等で 373 万 2,000 円、共済費で 300 万 7,000 円、計 1,255 万 4,000 円の増額補正となっております。

次に、2 款 1 項 1 目木造地区建設費についてでございます。こちらも説明欄の 2 の人件費について、人事異動に伴う調整を行ったもので、給料で 436 万 7,000 円の減額、職員手当等で 208 万 6,000 円の減額、共済費で 235 万 1,000 円の減額で、計 880 万 4,000 円の減額補正となっております。

続きまして、歳入予算についてご説明いたします。5 ページ目にお戻り願ひます。4 款 1 項 1 目一般繰入金でございます。こちらは、歳出でご説明いたしました一般管理費の人件費 1,255 万 4,000 円の増額と木造地区建設費の人件費 880 万 4,000 円の減額との差し引き 375 万円の増額補正となっております。

以上で説明を終わります。ご審議方よろしくお願ひいたします。

○委員長（成田 博君） 説明が終わりました。

質疑を行います。ございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ないようですので、議案第46号の質疑を終わります。

◎議案第47号の説明、質疑

○委員長（成田 博君） 議案第47号 平成29年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案を議題とします。

説明を求めます。

山谷民生部長。

○民生部長（山谷 智君） それでは、議案第47号 平成29年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案についてご説明申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ122万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ62億4,926万5,000円とするものでございます。

平成29年6月5日提出、つがる市長。

それでは、歳出のほうからご説明させていただきます。6ページをお開き願います。第1款総務費、1項1目一般管理費1,806万1,000円を減額補正しております。この内容ですが、人事異動による人件費の減額でございます。

次に、第8款保健事業費、1項1目保健衛生普及費182万2,000円を増額しております。これは、今年度9月より稼働を予定しておりますジェネリック医薬品普及促進システム導入委託料を補正するものでございます。

次に、10款諸支出金、1項1目一般被保険者保険税還付金1,746万円を増額しております。これは、国民健康保険税の軽減判定所得の算定に誤りがあり、増額補正となったものでございます。

続きまして、歳入をご説明させていただきます。5ページにお戻り願います。第6款県支出金、2項1目財政調整交付金182万2,000円を増額ですが、先ほども歳出で申したとおり、ジェネリック医薬品の普及促進と重複投与の対策により薬剤費の抑制につなげるためシステムを導入するものでございます。

次に、9款繰入金、1項1目一般会計繰入金では、人事異動による職員給与費の繰入金1,806万1,000円を減額補正するものでございます。

また、同2項1目財政調整基金繰入金1,746万円を増額補正するものでございます。これは、国民健康保険税の計算のシステムに誤りがあり、税に過誤があったため償還金を支払うものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願ひします。

○委員長（成田 博君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

松橋勝利委員。

○18番（松橋勝利君） 歳出の6ページの今部長が簡単に説明はしておったけれども、13の委託料のジェネリック医薬品普及促進システム導入委託料という、ここに182万2,000円、今の説明ではこの導入は9月より行くと、こういうような説明が簡単にあったけれども、それだけでは皆さんはつきりわからないと思うので、もっと詳しく、わかるようにもう一回説明。

○委員長（成田 博君） 民生部長。

○民生部長（山谷 智君） 松橋委員からのご質問にお答えします。

ジェネリック医薬品普及促進システム導入費182万2,000円でございますが、国が示した医療費適正計画において、ジェネリック医薬品の使用促進と重複投与の対策のためにシステムを導入することでございますが、医薬品の抑制につながるということで期待できるものでございます。

そして、システムの開発元は、東京にあるゼッタテクノロジー株式会社というところで開発しておりますけれども、青森県においては正規代理店の株式会社青森共同計算センターと随意契約して行うものと計画しております。

以上です。

○委員長（成田 博君） ほかにありませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ないようですので、議案第47号の質疑を終わります。

◎議案第48号の説明、質疑

○委員長（成田 博君） 議案第48号 平成29年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案を議題とします。

説明を求めます。

山谷民生部長。

○民生部長（山谷 智君） それでは、議案第48号 平成29年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案についてご説明申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ94万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億8,547万4,000円とするものであります。

平成29年6月5日提出、つがる市長。

それでは、歳出からご説明させていただきます。6ページをお開き願ひします。第1款総務費、1項1目一般管理費23万9,000円の補正額でございますが、総務課人事係による人件費の増額補正でご

ざいます。

次に、第3款諸支出金、1項1目保険料還付金70万4,000円の増額補正でございます。これは、平成20年度からの保険料軽減判定誤りによる過大徴収に伴い、保険料を還付するものでございます。

続きまして、歳入をご説明いたします。5ページにお戻り願います。第3款繰入金、1項1目事務費繰入金23万9,000円の増額補正は、人件費増額のため繰り入れるものでございます。

次に、5款諸収入、2項1目雑入70万4,000円の増額補正でございますが、歳出でもご説明いたしました保険料軽減判定の誤りによる過大徴収に伴う保険料を還付するための増額補正でございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願ひします。

○委員長（成田 博君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ないようですので、議案第48号の質疑を終わります。

◎議案第49号の説明、質疑

○委員長（成田 博君） 議案第49号 平成29年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第1号）案を議題とします。

説明を求めます。

白戸福祉部長。

○福祉部長（白戸 登君） それでは、議案第49号 平成29年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第1号）案。

歳入歳出それぞれ557万4,000円を追加し、歳入歳出それぞれ44億5,080万9,000円とする。平成29年6月5日提出、つがる市長、福島弘芳。

歳出からご説明いたします。6ページをお願いします。歳出です。1款総務費553万1,000円、その下の地域支援事業費4万3,000円、これはともに人事異動に伴う人件費の調整でございます。

歳入の5ページをお願いします。歳入は、人件費に対する財源を一般会計から繰り入れするため調整したものでございます。7款の繰入金557万4,000円を増額しております。

以上、説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願ひします。

○委員長（成田 博君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ないようですので、議案第49号の質疑を終わります。

以上で本委員会に付託された議案の質疑は全て終了しました。

◎議案第40号～議案第49号の討論、採決

○委員長（成田 博君） これより一括して討論を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） 討論なしと認めます。

これより一括して採決します。

お諮りします。議案第40号から議案第49号までの計10件はそれぞれ承認及び原案どおり可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ご異議なしと認め、以上10件については承認及び原案どおり可決することに決定いたしました。

これで本委員会に付託された議案の審査は全て終了しました。

お諮りします。本委員会の審査経過と結果報告については、委員長に一任願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（成田 博君） ご異議なしと認め、そのように決定しました。

◎閉会の宣告

○委員長（成田 博君） 以上で本委員会の日程は全部終了しました。

よって、明日は休会となります。

審査に際しまして、委員並びに理事者の皆様から賜りましたご支援、ご協力に対し、深く感謝を申し上げます。

これをもって予算特別委員会を閉会いたします。

（午後 1時19分）

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

委員長 成 田 博